

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Subject / Course / Grade Level 教科 / 科目 / 学年	1 年	Textbooks 使用教科書	世界史 A (帝国書院)	Class hours 時間数	2 時間 / 週
--	-----	--------------------	--------------	--------------------	----------

1学期 中間試験

Name of Unit, Project 単元	1 8 世紀の世界	Materials 教材	教科書・各種史料 (プリント使用)
--------------------------	-----------	--------------	-------------------

Unit Description 単元の概要	1 8 世紀の世界を「横」の視点から概観し「世界の中の日本」を意識する。中学までに学んだ歴史を復習しながら江戸時代の日本が世界から孤立していたのではなく世界の情報を獲得し、また経済的にも関わりがあったことを学習する。同時に次の単元であるアジアとヨーロッパそれぞれの「国家」の成り立ちについて考える。
---------------------------	---

Content Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
楽	A3	B3 ・世界の国々の関わりを理解し、その関わりがどのようなものであったかを考えることができる。	C3 ・現代社会における多文化共生社会の実現について歴史的事象を元に自ら課題を立て解決策を提案できる。	A3	B3 「三角貿易」などの事例をみながら世界の関わりについて検討しその影響を説明する。	C3 ・現代社会における多文化共生社会の実現について歴史的事象を元に自ら課題を立て解決策を提案する。
好	A2 中学までの学習内容を理解している	B2 日本と世界がどのように関わっていたかを情報・経済の視点から考える。	C2 多文化共生について1 8 世紀と現代を比較できる。	A2 中学までに学習した日本と世界の歴史を理解する。	B2 「オランダ風説書」や「四つ口」などを通して江戸時代の日本が世界をどのように理解していたかまとめる。	C2 帝国における多民族の共生を現代社会とのかかわりの中で考える。
知	A1 基本的な歴史用語や概念・地理を理解する。	B1 ・1 8 世紀の世界と日本の政治・社会の特徴などについて理解している。	C1 ・アジアの帝国とヨーロッパの主権国家の相違点を理解している。	A1 「鎖国」・「幕藩体制」・「冊封体制」・「主権国家」などの用語を理解する。	B1 ・1 8 世紀の世界と日本の繋がりを理解する。 ・各地域の政治・社会などの特徴を理解する。	C1 現代の国境問題を主権国家誕生の関わりから考え、アジアの帝国との相違点を理解する。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> ・課題プリントの提出 ・小テストの実施 ・グループワーク
--------------	-------------------------------------

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Subject / Course / Grade Level 教科 / 科目 / 学年	1年	Textbooks 使用教科書	世界史A (帝国書院)	Class hours 時間数	2時間 / 週
--	----	--------------------	-------------	--------------------	---------

1学期 期末試験

Name of Unit, Project 単元	国民国家の誕生と発展	Materials 教材	教科書・各種史料
-----------------------------	------------	-----------------	----------

Unit Description 単元の概要	18世紀～19世紀初頭を扱う。「アメリカ独立革命」・「フランス革命」を通じて誕生した「国民国家」について諸史料を概観しながら理解し考察する。また19世紀に入って国民国家がどのように世界に広がったかを日本の明治維新とその後の改革を例に概観し「国民」とは何かを考えていく。さらに、ナショナリズムを軸に国民国家の現代社会への影響を考察する。
---------------------------	---

Content Standards 評価規準	Learning Objectives 学習内容
---------------------------	-----------------------------

楽	A3	B3	C3	A3	B3	C3
好	A2 歴史的事象について説明できる	B2 ・日本と清を比較しながら国民がどのように形成されたかを理解している。 ・日本と世界の関わりを説明できる。	C2 国民について自ら定義して説明することができる。	A2 環大西洋革命などの歴史的事象や明治維新などの経過について説明できるようにする。	B2 ・日本と清の政治改革の類似点と相違点を比較する ・幕末～明治維新にかけての日本と世界の関わりについて比較する	C2 ドイツとフランスを例に「ナショナリズム」について考え、それに起因する現代社会における両国の問題点を考察する。
知	A1 基本的な歴史用語や概念・地理を理解している。	B1	C1 ドイツ・フランスのナショナリズムの違いを説明できる。	A1 「国民国家」・「ナショナリズム」などの用語を理解する。	B1 日本における国民国家の形成がどのように受容されたか理解する。	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> ・課題プリントの提出 ・小テストの実施 ・グループワーク
--------------	-------------------------------------

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Subject / Course / Grade Level 教科 / 科目 / 学年	1 年	Textbooks 使用教科書	世界史 A (帝国書院)	Class hours 時間数	2 時間 / 週
--	-----	--------------------	--------------	--------------------	----------

2学期 中間試験

Name of Unit, Project 単元	「近代化」の功罪	Materials 教材	教科書・各種史料
-----------------------------	----------	-----------------	----------

Unit Description 単元の概要	ここでは主に19世紀前半～中後期までを扱い、「近代化」がもたらした影響を「産業革命」などの技術的なものやそれに伴う「資本主義」と「社会主義」の誕生などをキーワードに考えていく。また、前単元で学習した国民国家と近代化の関わりについても「教育」・「近代科学の発展」などを手掛かりに現代社会にどのような影響を及ぼしているかを考え、「近代化」や技術革新の是非について考察を深める。
---------------------------	--

Content Standards 評価規準	Learning Objectives 学習内容
---------------------------	-----------------------------

楽	A3	B3 産業革命がもたらした問題点について、現代社会における諸問題と比較しながら考えることができる。	C3 技術革新の是非について歴史的事象を踏まえて自分で課題を考え解決策を考察することができる。	A3	B3 ・産業革命期の諸問題についてどのように解決するかについて、当時の人々の立場に立ち考える ・当時の教育でどのような人材が求められるかを考える。	C3 技術革新の是非について歴史的事象を踏まえて自分で課題を考え解決策を考察する。		
	好	A2 歴史的事象について説明できる	B2 第一次産業革命と第二次産業革命の違いを比較しその違いを説明できる。		C2 科学技術と国家の関係について、根拠を明示しながら自分の意見を述べるができる。	A2 産業革命などの歴史的事象を説明することができる。	B2 産業革命もたらした影響について19世紀前半と19世紀後半を比較しながら考察する。	C2 「近代科学の発展」がナショナリズムや国の政策とどのように関わったかを理解し、現代社会における国家と科学の関係を考える。
	知	A1 基本的な歴史用語や概念・地理を理解している。	B1		C1	A1 「産業革命」や経済用語について理解している。	B1 日本と世界における「近代化」の度合いについて相違点を理解する。	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking					

Others 備考	<評価方法> ・課題プリントの提出 ・小テストの実施 ・グループワーク
--------------	-------------------------------------

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Subject / Course / Grade Level 教科 / 科目 / 学年	1年	Textbooks 使用教科書	世界史A	Class hours 時間数	2時間 / 週
--	----	--------------------	------	--------------------	---------

2学期 期末試験

Name of Unit, Project 単元	「植民地」と「総力戦」	Materials 教材	教科書・各種史料
-----------------------------	-------------	-----------------	----------

Unit Description 単元の概要	帝国主義の時代である19世紀末～20世紀初頭を扱う。欧米列強による植民地化の影響を学習する。また、植民地支配の実態についてアフリカやアジアにおける分割統治がもたらした影響を現代社会との関わりから理解する。同時に植民地化の帰結としての総力戦と現代社会の関わりについて考察する。
---------------------------	---

Content Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
楽	A3 地理と歴史的事象を結び付けて考えることができる。	B3	C3	A3 欧米の植民地について地図を使って理解する。	B3	C3
好	A2 歴史的事象について説明できる	B2 第一次・第二次世界大戦と植民地の関係について説明できる。	C2 第二次世界大戦について流れではなく右のキーワードをもとに説明できる。	A2 帝国主義や総力戦などの用語について説明できる。	B2 植民地と総力戦の関係について世界大戦前と世界大戦後で相互にどのように影響しあったかを説明する。	C2 第二次世界大戦を「帝国主義」・「植民地」・「ナショナリズム」などをキーワードとして学習する
知	A1 基本的な歴史用語や概念・地理を理解している。	B1 ・現代のアフリカやインドにおける諸問題の由来と原因が説明できる。 ・総力戦が現代社会にもたらした影響を説明できている、	C1	A1 「帝国主義」・「総力戦」・「移民」などの歴史的用語を理解している。	B1 ・植民地となったインドやアフリカの社会がどのように変化したかを理解する。 ・総力戦が現代社会にもたらした影響を理解する。	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> ・課題プリントの提出 ・小テストの実施 ・グループワーク
--------------	-------------------------------------

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Subject / Course / Grade Level 教科 / 科目 / 学年	1 年	Textbooks 使用教科書	世界史A	Class hours 時間数	2 時間 / 週
--	-----	--------------------	------	--------------------	----------

3学期 学年末試験

Name of Unit, Project 単元	三つの世界	Materials 教材	教科書・各種史料
--------------------------	-------	--------------	----------

Unit Description 単元の概要	20世紀前半から末までを扱う。第二次世界大戦におけるファシズムと社会主義・資本主義の対立として概観し、戦後は世界を西側（資本主義国）・東側（社会主義国）・第三世界と区分して考え、西側と東側の対立が現在に至る問題をもたらしたことや第三世界への「大国の論理」がどのように影響したかを理解する。そして、それが21世紀の現在にどのように影響したか、ひいてはそれを解決するための方策を考えていく。
---------------------------	---

Content Standards 評価規準				Learning Objectives 学習内容		
察	A3	B3	C3	A3	B3	C3
		大恐慌時代に生きた人々の立場を考えながら自らの主張を述べることができる。	1年間の学習から、自らの歴史観を築き、それを表現することができる。		・大恐慌の時代に生きた人間として、ファシズム・民主主義・社会主義のどれを選択するか当時の状況を鑑みながら考えていく。	現在の世界における諸問題について自ら問を立てどのように解決すべきかを1年間の学習から総括する。
好	A2	B2	C2	A2	B2	C2
	歴史的事象について説明できる。	アジアや欧米諸国に対する日本の立場の変化を外交的息めにや心情的側面から考え説明できる。	18世紀から現代までの日本と世界の関わりをテーマに沿って概観できている。	・ドイツやイタリアなどファシズム政権の成立過程や日本の軍国主義などについて説明できる。 ・戦後の冷戦について概要を説明できる。		18世紀から現代までの日本と世界がどのように関わってきたかを1年の授業から振り返り考える。
知	A1	B1	C1	A1	B1	C1
	基本的な歴史用語や概念・地理を理解している。			「全体主義」・「冷戦」・「民族主義」などの歴史的用語を理解している。	大戦から冷戦にかけて日本が諸外国に対してどのように関わってきたかを理解する。	
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> ・課題プリントの提出 ・小テストの実施 ・グループワーク
--------------	-------------------------------------